

2020 年度業務実績報告書

提出日 2021 年 1 月 20 日

1. 職名・氏名 准教授 桑原 美香

2. 学位 学位 博士、専門分野 財政学、授与機関 広島大学、授与年月 2003 年 9 月

3. 教育活動

(1) 講義・演習・実験・実習	
① 担当科目名 (単位数) 主たる配当年次等	財政学講義(前期 4 単位) 2 年生
② 内容・ねらい (自由記述)	政府の活動とその財源について基礎用語を学んだうえで、公共財・サービスの必要性和意義、留意点について理解する。また、社会保障制度や国債、地方財政についての現状理解と今後の役割について自分なりの意見を持てるよう指導する。
③ 講義・演習・実験・実習運営上の工夫 (自由記述)	オンデマンド型のオンライン講義を行うため以下の 5 点で工夫した。(1)1 講義 3~4 分割し、音声・映像ファイルを 15~20 分程度にした。(2)PC を持たない、Wi-Fi 環境が整っていない学生のために、2 講義は音声のみ、1 講義は動画とした。(3)以上を効果的にするため 3 回分の講義で 1 テーマとなるよう講義配分を考えた。具体的には、第 1 講義は新聞やテレビ番組など身近な話題に興味を持たせ、第 2 講義では理論理解に焦点を絞った。とりわけミクロ経済学の復習を行い、財政学の当該部分がその応用であることを理解させた。第 3 講義は今後の課題について整理し、他国などで行われている類似の制度の可能性などについても紹介し、オープンエンドな講義展開を行った。(4)講義は第 1 回目の講義までに受講者自身が事前に教科書を読みレジュメを作ってくるよう指導し「反転授業」となるよう工夫した。また、事前学習で国内外の年表を作らせ、それと照らし合わせながら昭和時代の映像や画像を見せることで、主体的に学び取るよう工夫した。(5)事後学習のため、1 テーマが終わるごとに講義で何を学んだかをまとめさせる課題を出した。その際、講義内容やネット環境なども含め、不具合などがないかこまめに学生の状況を聞き、可能な限り対応した。
① 担当科目名 (単位数) 主たる配当年次等	外書講読(後ろ期2単位) 2年生
② 内容・ねらい	海外で起こっている事象について英語で理解することに重点を置いた。
③ 講義・演習・実験・実習運営上の工夫	オンライン講義を 5 回、受講生の希望であった対面講義を 10 回行ったが、オンラインでは積極的に受講生の意見を口に出すことを、対面講義では事前提出された課題を講義中に取り上げ、受講生の英文、和訳の注意点などを学生ごとに指摘することで双方向となるよう工夫した。講義資料は、オンラインでも入手が容易な英米の新聞社の HP や OECD の報告書を用いた。とりわけ、ホットトピックスであった大統領選挙や人種問題(BLM)、COVID-19 に関連するリモートワークや財政・金融政策について、歴史的背景、日本では報道されていない内容・映像を取り入れた。また、マクロ経済学や経済政策、金融論、財政学の復習となるよう理論部分も加えた。
① 担当科目名 (単位数) 主たる配当年次等	演習 I (前期後期 4 単位) 3 年生 (2017 年度~2019 年度)
② 内容・ねらい	次年度から始まる演習 II で使える技術の習得として、論理的に考え分析・検証、表現する手法について学ぶ。

③ 講義・演習・実験・実習運営上の工夫

1 コマのうち講義前半は、担当者が事前に新聞記事を選びレジュメ化してきたものを報告、講義後半は、回帰分析を用いて各受講生が興味を持つテーマについて研究を行った。

7 月には、北陸原子力懇談会主催でオンラインセミナーを開催していただき、近畿大学理工学部教授 渥美寿雄先生より「これからの日本のエネルギーの在り方」について伺った。また、11 月と 1 月には、日本原子力産業協会主催のオンラインセミナーにて杉山一弥フェローに、ご講演いただいた。さらに 1 月には、福井大学、福井工業大学の学生とともに、高レベル放射性廃棄物に関するオンラインセミナーに参加することで、得た知識を用いてディスカッションできるよう、体系的かつ自律的に学べるよう講義を設計した。

① 担当科目名（単位数） 主たる配当年次等
演習Ⅱ（前期後期 4 単位）4 年生 （2017 年度～2019 年度）

② 内容・ねらい

卒業論文執筆に際し必要となる技術の習得として、論理的に考え表現する手法について実践的に学ぶ。

③ 講義・演習・実験・実習運営上の工夫

卒業論文執筆のためのテーマ探し、先行研究探し、レジュメづくりなど、オンラインで個別にゼミを行った。学生の好奇心を刺激しながら向学心をあおるよう、読んでおくとよい文献・資料なども個別に提示した。また公務員志望のグループには、毎週小論文の課題を出し、追加資料やデータの読み込みをさせ、再提出をさせることで知識の定着を図った。いずれにおいても、学生の得手不得手を丁寧に見極めながら応えるように工夫した。2 月には廣瀬ゼミ、藤野ゼミとの合同卒業論文報告会を行う。

その他、今年度は学外活動ができない分、幅広い知識を身に着けるため学外との繋がりを絶やさないよう工夫した。前述のように、3 年生と共に北陸原子力懇談会や日本原子力産業協会によるオンライン講義は合計 3 回行った。また、福井大学、福井工業大学の学生とともに、オンラインディスカッションに参加させた。

(2) その他の教育活動

4. 研究業績

(1) 研究業績の公表
①論文 (タイトル、共著者の有無(共著の場合は主たる担当箇所について)、掲載雑誌名(号数)、掲載(受理)年月日)
②著書 (タイトル、共著者の有無(共著の場合は主たる担当箇所または担当ページ)、出版年、出版社名)
③学会報告等 (タイトル、報告学会(大会)名(開催年月日)、共同報告者の有無(共同報告の場合は主たる担当箇所))
④その他の公表実績
(2) 学会活動等
学会でのコメンテーター、司会活動(担当報告名、担当学会(大会)名(開催年月日))
学会での役職など(学会名) 日本地方自治研究学会 理事 地域公共政策学会 理事
学会・分科会の開催運営(担当学会(大会)名(開催年月日)、開催場所)
(3) 研究会活動等
①その他の研究活動参加(参加研究会名、調査活動名(期間))
②その活動による成果
(4) 外部資金・競争的資金獲得実績
(5) 特許出願

5. 地域・社会貢献活動

(1) 学外団体
①国・地方公共団体等の委員会・審議会（それぞれの名称、業務内容、担当期間）
<u>委員会1</u> ：北陸財務局国有財産北陸地方審議会（2015年度～）
<u>委員会2</u> ：北陸財務局北陸地域連携プラットフォーム（2013年度～）
<u>委員会3</u> ：北陸農政局農村振興課関係補助金等交付先選定審査委員会（2011年度～）
<u>委員会4</u> ：近畿地方整備局足羽川ダム事業費等監理委員会（2014年度～）
<u>委員会5</u> ：福井地方労働審議会（2019年度～）
<u>委員会6</u> ：福井県固定資産評価審議会（2016年度～）
<u>委員会7</u> ：福井県優良工事等事業者表彰選考委員会（2015年度～）
<u>委員会8</u> ：福井県県民ホール指定管理者選定委員会（2019年度）
<u>委員会9</u> ：福井市都市再生整備計画事後評価委員会（2019年度）
<u>委員会10</u> ：福井市公正入札調査等委員会（2007年度～）
<u>委員会11</u> ：福井市廃棄物減量等推進会議（2007年度～）
<u>委員会12</u> ：福井市市民協働推進委員会・委員長（2009年度～）
<u>委員会13</u> ：福井市身近なまちづくり審議会（2011年度～）
<u>委員会14</u> ：福井市みらくる亭譲渡先事業者選定委員会・委員長（2020年）
<u>委員会15</u> ：福井市新清掃センター整備・運営事業者選定委員会（2020年）
<u>委員会16</u> ：大野市行政改革戦略会議・会長（2013年度～）
<u>委員会17</u> ：あわら市行政改革推進委員会・会長（2012年度～）
<u>委員会18</u> ：敦賀市市教育委員会自己点検ヒアリング（2018年度～）
<u>委員会19</u> ：敦賀市・美浜町 新清掃センター整備に係る計画及び調査等業務プロポーザル審査委員会（2019年度～）
<u>委員会20</u> ：敦賀市・美浜町新清掃センター整備・運営事業者選定委員会（2020年）
②国・地方公共団体等の調査受託等（それぞれの名称、業務内容、活動期間）
③（公益性の強い）NPO・NGO 法人への参加（それぞれの名称と活動内容、活動期間）
④（兼業規程で業務と見なされる範囲内での）企業等での活動（企業名、活動内容、活動期間）
⑤大学間あるいは大学と他の公共性の強い団体との共催事業等（事業名称及び主催・共催者名、活動内容、活動期間）

⑥その他（名称、活動場所、活動期間）

(2) 大学が主体となっている地域貢献活動等

①公開講座・オープンカレッジの開講（タイトル名、開催場所、開催日時）

②社会人・高校生向けの講座（タイトル名、開催場所、開催日時）

入試説明会：大野高等学校(2020年7月17日)

開放講義：美方高等学校（2020年11月4日）

審査員/アドバイザー3：HINO 課題研究発表会(於：武生東高等学校、2020年8月28日、2020年12月11日、2021年3月(予))

③その他（名称、活動場所、活動期間）

(3) その他（個人の資格で参加している社会活動等）

（活動内容、主たる活動場所、活動期間）

6. 大学運営への参画

(1) 補職
(職名、期間)
(2) 委員会・チーム活動
(名称、期間)
(3) 学内行事への参加
(行事名、参加日時) 入試関連業務等
(4) その他、自発的活動など
(活動名、活動内容、活動期間)